

2024年度

香川大学大学院農学研究科（修士課程）

学 生 募 集 要 項

[特別選抜（自己推薦方式）]

2023年4月

香川大学大学院農学研究科

〒761-0795 香川県木田郡三木町池戸2393
電話 (087) 891-3015 (直通)

農学研究科の教育理念

香川大学大学院農学研究科は、生物がもつ多様な機能を探究し、応用生物学領域の学術的展開を図るとともに、有用資源の創成や活用に関する応用技術の開発に向けた先端的かつ総合的な教育・研究を行い、生物資源の生産と利用に関する高度な専門知識と技能、課題探求と解決能力、及び実践的能力を備えた人材の育成と、国際水準の学術的研究を通じて広く社会への貢献を目指します。

応用生物・希少糖科学専攻

本専攻は、動植物・微生物等の機能や有用性を食料生産、生物資源の利活用と開発、環境の保全等へ広く応用展開する応用生物学と、本学の特色である希少糖に関する高度な専門知識と技能を備え、国内外の多様な生物産業関連分野で活躍できる高度専門人材を育成します。そのため、食料、生命、環境、及び希少糖に関する高度で幅広い専門的知識と技能、自ら課題を見出し解決に向け取り組むことのできる実践力、高度専門人材に求められる高い倫理性と協調性、国際・地域社会において求められる情報伝達能力を修得させます。

本専攻は以下に示す4つの教育コースを設置します。

<希少糖先端科学コース>

希少糖研究の歴史的な経緯を踏まえつつ、最新の動向を把握し、希少糖に係る基礎及び応用開発に関する高度な専門知識と技能を身に付け、これらを研究開発や産業応用の場において活用できる人材を育成します。そのため、「希少糖」をイノベーションとして捉え、開発背景・諸性質・機能性・産業展開・用途開発などについて糖質バイオサイエンスを基盤として多面的・総合的に学び、希少糖に係る学術および関連産業の発展を担うことができる能力を修得させます。

<環境生物学コース>

里山、陸水、里海などの生活・生産圏の生態系の構造と機能を理解して、それらの保存・修復に寄与できる、あるいは、それらの環境下での生物資源生産システムを最適化して、安定的かつ持続的な生物資源の供給に寄与できる人材を養成します。そのため、生物生産科学・園芸科学・環境科学等に加え、希少糖の応用を含めた幅広い専門知識と技能を学び、国内外において、環境保全や農林水産業における課題解決に資する能力を修得させます。

<生物化学・食品科学コース>

化学（分析化学・物理化学・有機化学・高分子化学）及び生化学、あるいは食品科学に関する知識と手法を身に付け、健康長寿社会に貢献し、環境に配慮したグリーン社会の構築を担うことのできる人材を育成します。そのため、生物資源・バイオマス、食品、及び希少糖類を研究素材とし、それらの化学的解明、高機能物質の開発、食品の安全性や健康機能性に係る知識と技術を学び、地域特産物や未活用資源を用いた食品開発や有用資源化を担うことができる能力を修得させます。

<応用生命科学コース>

生命現象や生物が作る様々な物質の特性及び機能を分子・遺伝子レベルで解明し、利用・開発に関する知識・技術を身に付け、動植物・微生物の機能の高度な活用を担う人材を育成します。そのため、生物学を基盤として、生物学・生化学・分子生物学分野を幅広くかつ深く学び、有用生物や生物機能を利用して生産される希少糖を含む有用物質の研究を通じて、生物資源の利活用・開発に繋げる能力を修得させます。

アドミッションポリシー（入学者の受入れに関する方針）

◇求める学生像（入学者に求める学力・能力・資質等）

大学院入学までに以下のような学力・能力・資質等を備えている学生を求めています。

①知識・技能・理解力

生物資源の生産と利用に関する大学卒業程度の基礎知識・技能・理解力

②思考力・判断力・表現力

自らの論理的思考・判断に基づき生物資源の生産と利用に関する諸課題を説明できる表現力

③研究能力・応用力

生物資源の生産と利用に関連する研究を遂行するための能力・応用力

④探求心・意欲・態度

生物資源の生産と利用に関する諸分野について学び、研究することに対する高い志・意欲・態度と創造的な探求心

⑤倫理観・社会的責任

自然環境と調和した持続可能な社会の実現をめざす倫理観とその社会的責任を理解できる能力

⑥グローバルマインド

生物資源の生産と利活用に関連する国内外の情報を理解するための基本的語学能力とそれらを国際社会や地域社会の課題として捉えることのできる国際感覚

◇入学選抜の基本方針

○一般選抜・社会人特別選抜 前期

筆記試験の「専門」では進学志望領域の教員の専門分野から出題し、修学に必要な知識・技能・理解力、論理的思考力・表現力を評価します。「外国語」では英語を出題し、修学に必要な知識・理解力、コミュニケーションに必要な言語運用能力（グローバルマインド）を評価します。なお、社会人特別選抜では「外国語」を免除します。

口頭試問では提出書類（成績証明書等）を参考にしながら、勉学・研究に対する探求心・意欲・態度、研究能力・応用力、自分の考えを論理的に構築し伝える思考力・判断力・表現力、及び持続可能な社会の実現にとって不可欠な倫理観・社会的責任を総合的に評価します。

○一般選抜・社会人特別選抜 後期、外国人留学生特別選抜

プレゼンテーションでは卒業研究の内容と入学後の研究計画を口頭発表し、研究能力・応用力、思考力・判断力・表現力、コミュニケーション能力・発信力（グローバルマインド）を総合的に評価します。ただし、飛び入学希望者や卒業研究を履修していない学生等については、志望理由と入学後の研究計画の口頭発表により思考力・判断力・表現力、研究能力・応用力やコミュニケーション能力・発信力を総合的に評価します。

口頭試問では提出書類（成績証明書等）を参考にしながら、修学に必要な知識・技能・理解力、勉学・研究に対する探求心・意欲・態度、自分の考えを論理的に構築し伝える思考力・判断力・表現力、及び持続可能な社会の実現にとって不可欠な倫理観・社会的責任を総合的に評価します。

○特別選抜（自己推薦方式）

口頭試問では提出書類（成績証明書等）を参考にしながら、修学に必要な知識・技能・理解力、勉学・研究に対する探求心・意欲・態度、研究能力・応用力、自分の考えを論理的に構築し伝える思考力・判断力・表現力、及び持続可能な社会の実現にとって不可欠な倫理観・社会的責任を総合的に評価します。

2024年度入試概要

| 選抜方法 | | 特別選抜 ²⁾ (自己推薦方式) | 一般選抜・社会人特別選抜 | | 外国人留学生 特別選抜 |
|---------------------|-----------------------------|--------------------------------|--|---|----------------|
| | | | 前期 | 後期 | |
| 募集人員等 ¹⁾ | 応用生物・ 希少糖科学専攻 (合計60人) | 30 | 30 | 若干人 | 若干人 |
| 日程等 | 出願期間 | 2023年 6月5日(月)～ 6月15日(木) | 2023年 7月13日(木)～ 7月24日(月) | 2023年12月6日(水)～12月13日(水) | |
| | 試験日 | 2023年 7月6日(木) | 2023年 8月23日(水)・ 24日(木) | 2024年1月18日(木) | |
| | 試験種目 | 口頭試問 ³⁾ | 筆記試験 (外国語・専門) ⁴⁾ 口頭試問 ³⁾ | プレゼンテーション ⁵⁾ と口頭試問 ³⁾ | |
| | 合格者発表 | 2023年 7月14日(金) | 2023年 9月15日(金) | 2024年2月7日(水) | |

注 1) いずれの選抜方法でも、募集人員以上の合格者を出すことがあります。外国人留学生については、2023年12月頃に募集する外国人留学生特別選抜でも受験できます。社会人については、一般選抜前期・後期と同日に実施される社会人特別選抜でも受験できます。

2) 特別選抜（自己推薦方式）の受験資格について

大学在学中のものは、2023年3月31日時点で卒業要件単位のうち100単位以上取得しており、かつ優以上が60単位以上であること（学校教育法第89条（いわゆる早期卒業）の規定によるものはこの条件を満たさなくても出願資格がある）。編入学生については、3年次に取得した単位の6割以上が優以上であること。既卒者は、修得単位のうち6割以上が優以上であること。

3) 口頭試問では、提出書類などを参考にしながら、志望動機、修学に必要な知識、論理的思考力、自分の考えを的確に伝える表現力、勉学・研究に対する意欲などを審査します。

4) 筆記試験の専門は、志望教員の専門分野から出題されます。なお、社会人特別選抜の外国語試験はありません。

5) 卒業研究の内容と入学後の研究計画を口頭発表してください。ただし、飛び入学希望者や卒業研究を履修していない学生等については、志望理由と入学後の研究計画を口頭発表してください。なお、口頭発表にはパソコンとプロジェクターを使用することはできませんが、発表原稿（プレゼンテーションソフトの発表原稿機能を含む）は使えません。パソコンについては持参してください。

目 次

| | |
|--|---|
| I. 2024年度香川大学大学院農学研究科（修士課程）学生募集要項 [特別選抜（自己推薦方式）] | |
| 1. 特別選抜（自己推薦方式）の趣旨 | 1 |
| 2. 専攻及び募集人員 | 1 |
| 3. 出願資格 | 1 |
| 4. 出願資格審査について | 1 |
| 5. 出願手続 | 2 |
| 6. 入学者選抜方法 | 3 |
| 7. 試験等の期日及び場所 | 3 |
| 8. 合格者発表 | 3 |
| 9. 入学手続 | 4 |
| 10. 注意事項 | 4 |
| II. 農学研究科教員名及び専門分野名一覧表 | 6 |
| III. 長期履修学生制度について | 9 |

2024年度

I. 香川大学大学院農学研究科（修士課程）学生募集要項 [特別選抜（自己推薦方式）]

1. 特別選抜（自己推薦方式）の趣旨

この特別選抜制度は、本学の大学院修士課程へ入学し、志望専門分野の教員と協力して研究を進展させることを強く希望している優秀な学生に対して、筆記試験を免除して入学者選抜を行う制度である。

2. 専攻及び募集人員

| 専攻 | 募集人員 |
|--------------|------|
| 応用生物・希少糖科学専攻 | 30人 |

3. 出願資格

下記の(1)～(6)に該当する在学中の者は、2023年3月31日時点で卒業要件単位のうち100単位以上取得しており、かつ優以上が60単位以上であること（学校教育法第89条（いわゆる早期卒業）の規定によるものはこの条件を満たさなくても出願資格がある）。編入学生については、3年次に取得した単位の6割以上が優以上であること。既卒者は、修得単位のうち6割以上が優以上であること。また、いずれにおいても、合格した場合は、入学を確約できること。

- (1) 学校教育法第83条第1項に定める大学を卒業した者及び2024年3月卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者及び2024年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び2024年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び2024年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされる者に限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び2024年3月までに修了見込みの者
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者及び2024年3月までに修了見込みの者
- (7) 文部科学大臣の指定した者及び2024年3月までに指定した者に該当する見込みの者
- (8) 学校教育法第102条第2項の規定（いわゆる飛び入学）により他の大学の大学院に入学した者であって、当該者をその後に入学者とする本大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認められたもの
- (9) 大学卒業資格を有していない者であっても、本大学院における個人の能力の個別審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があり、受験資格があると本大学院が認めた者で、22歳に達したものと及び2024年3月31日までに22歳に達するもの

4. 出願資格審査について

出願資格の(8)・(9)により出願しようとする者は、出願に先立って出願資格審査を行いますので、あらかじめ問い合わせてください。

出願資格審査の概要は次のとおりです。

(1) 提出書類等

| | |
|------------------|--|
| 出願資格(8)(9)共通 | |
| 出願資格審査申請書 | 本学所定の用紙により、作成してください。 |
| 出願資格(8)により出願する場合 | |
| 成績証明書 | 出身大学院(研究科)の長が作成し、厳封されたものを提出してください。在学中の者は、最新のものを出してください。 |
| 在学証明書又は修了証明書 | 出身大学院(研究科)の長が作成したものを提出してください。 |
| 出願資格(9)により出願する場合 | |
| 成績証明書 | 出身学校の長が作成し、厳封されたものを提出してください。在学中の者は、最新のものを出してください。 |
| 卒業・修了(見込)証明書 | 出身学校の長が作成したものを提出してください。 |
| 修学等状況報告書 | 学習、研究あるいは実務の状況について、記述してください(A4用紙1枚以内、35文字×30行 1,000字程度)。 |

※上記以外の書類を請求する場合があります。

(2) 申請書類等の提出期限

2023年5月12日(金)17時まで(必着)

- ・窓口受付時間は、9時から17時までとします。
 - ・郵送の場合は、期限内に**必着**するようにしてください。
- なお、期限を過ぎて到着したものは受理しません。

(3) 出願資格審査の方法

提出書類により行います。なお、本大学院が必要と認めた場合は、面接を行います。

(4) 出願資格審査書類の提出先及び問い合わせ先

香川大学農学部学務係

〒761-0795 香川県木田郡三木町池戸2393

電話 (087) 891-3015(直通)

(出願資格審査書類を郵送する場合は必ず簡易書留速達とし、封筒の表に「出願資格審査申請書在中」と朱書してください。)

5. 出願手続

- (1) 受験希望者は、出願前に志望教員(受験者が入学後に指導を希望する教員)と入学後の研究内容などについて相談してください。本研究科では、応用生物科学の全分野において希少糖の研究教育が受けられると同時に、すべての分野で横断的な教育を実現するために1専攻4コース制をとっています。よって入学後は、指導を受ける教員に関わらず、研究内容によって4つの教育コースの中から自分が受ける教育コースを選択することができます。なお、不明な点がある場合は、学務係(下記参照)へ電話で問い合わせてください。

(2) 出願期間

2023年6月5日(月)から6月15日(木)まで

受付時間は、9時から17時までです。

郵送の場合は、6月15日(木)17時必着とします。6月15日(木)17時を過ぎて着いた場合は、6月13日(火)までの消印があり、かつ、「簡易書留速達」であるものに限り受け付けます。

(3) 出願書類等提出先及び問い合わせ先

香川大学農学部学務係

〒761-0795 香川県木田郡三木町池戸2393

電話 (087) 891-3015(直通)

(出願書類等を郵送する場合は必ず簡易書留速達とし、封筒の表に「大学院入学願書在中」と朱書してください。)

(4) 出願書類等

| | |
|---------------------|--|
| 入 学 願 書 | 本学所定の用紙により、作成してください。 |
| 成 績 証 明 書 | 出身学校（学部）の長が作成し、厳封されたものを提出してください。*本学卒業生及び卒業見込みの者は厳封の必要はありません。4の出願資格審査で提出済の場合は提出不要です。 |
| 卒 業・修了（見込） 証 明 書 | 出身学校（学部）の長が作成したものを提出してください。在学中の者は、卒業・修了見込証明書を提出してください。4の出願資格審査で提出済の場合は提出不要です。 |
| 志 望 理 由 書 | A4用紙2枚以内（横書き、1ページあたり35文字×30行程度）で志望動機及び入学後の研究計画などを記述してください。 |
| 検 定 料* | 30,000円。入学願書と一連の「振込依頼書（入金票）」及び「領収書」に必要事項を記入の上、2023年5月29日（月）～2023年6月15日（木）の間に金融機関（郵便局・ゆうちょ銀行を除く）の窓口で所定の検定料を振り込んでください。その際、必ず入学願書下部の「受付金融機関出納印」欄に押印を受けてください。（注）通常、金融機関の窓口取扱時間は、平日の15時までです。また、土日・祝日は休業となりますので注意してください。 |
| 受 験 票 ・ 写 真 票 | 写真票には、出願前6か月以内に撮影した正面、上半身無帽の写真（4cm×3cm）を、所定の箇所に貼付してください。 |
| 受 験 票 等 送 付 用 封 筒 | 本学所定の封筒に自己の住所、氏名及び郵便番号を明記し、354円分の郵便切手を貼付してください。 |
| そ の 他 | 外国人の志願者は、上記の出願書類のほかに在留資格を証明するもの（旅券の写しなど）を添付してください。 |

【注】① 在職中の者は、入学及び修学に支障を来さないよう、勤務先において手続を取っておいてください。なお、入学手続時には、所属長等の入学承諾書（様式自由）を提出してください。

② 出願資格（2）該当者は、卒業証明書に代えて次の書類のうち1つを提出してください。

- 1) 学位記の写し又は学位授与証明書（大学改革支援・学位授与機構が作成したもの）
- 2) 修了（見込）証明書（専攻科）（在籍する短期大学長又は高等専門学校長が作成したもの）
- 3) 学士学位の授与の申請を受理した旨の証明書（大学改革支援・学位授与機構が作成したもの）
又は学士の授与を申請をした旨の証明書（在籍する短期大学長又は高等専門学校長が作成したもの）

*成績が出願条件を満たしていなかった場合は、願書を受理せず、検定料は返還します。

6. 入学者選抜方法

入学者の選抜は、口頭試問、志望理由書、成績証明書等の書類を総合して行います。

口頭試問では、志望理由書、成績証明書等を参考にしながら、志望する動機と修学に必要な知識、論理的思考力、自分の考えを的確に伝える表現力、勉学・研究に対する意欲などを評価します。

7. 試験等の期日及び場所

| 月 日(曜) | 区 分 | 時 間 | 場 所 |
|---------|-----|------------|--------------------------------------|
| 7月6日(木) | 受 付 | 12時30分～13時 | 香川大学農学部学務係 (詳細は、受験票送付時に通知 します) |
| | 試 験 | 13時15分～ | |

志願者が多数の場合は、7月7日（金）にも実施する場合があります。

8. 合格者発表

- (1) 2023年7月14日（金）午前9時（予定）から、本学のホームページ上で合格者受験番号を掲載するとともに、合格者には合格通知書を送付します（電話による照会には応じません）。

香川大学ホームページ：<https://www.kagawa-u.ac.jp/>

- (2) 合格者は、2023年7月28日（金）までに必ず「入学確約書（所定）」を提出してください。

9. 入学手続

合格者には、2024年2月中旬頃に入学手続書類を発送しますので、入学手続期限（必着）までに教育・学生支援部教育企画課へ簡易書留・速達での郵送により手続を行ってください。ただし、最終日に限り、持参による手続を認めます。

所定の期限までに入学手続を完了しない場合には、入学辞退者として取り扱います。

- (1) 入学手続期限
2024年3月27日（水）17時まで（必着）

- (2) 入学手続に必要なもの
1. 本学所定の誓約書
2. その他本研究科に必要な書類
3. 納付金

| | | |
|-------|------|--------------|
| 入 学 料 | | 282,000円（予定） |
| 授 業 料 | 前期分 | 267,900円（予定） |
| | （年額） | 535,800円（予定） |

なお、入学時及び在学中に納付金が改定された場合には、改訂時から新たな納付金額が適用されます。

【注】① 前期分の授業料については、2024年4月1日から2024年5月31日までの間に納付してください。

また、希望により、前期分の納付の際に後期分も合わせて納付することができます。

② 払込済の入学料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

ア. 入学手続を行わなかった場合

イ. 入学料を誤って二重に払い込んだ場合

③ 入学料・授業料の納付が困難な学生のために、免除や徴収猶予の制度があります。入学手続書類送付から手続までの期間が短いため、申請希望者は香川大学ホームページ(<https://www.kagawa-u.ac.jp/campus-life/tuition-info/16198/>)で事前に必要書類をご確認ください。

④ 入学手続を完了した後、何らかの事情で入学することができなくなった場合は、速やかに申し出て、入学辞退の手続を行ってください。所定の入学辞退の手続を行わない場合は、2024年4月1日付けで入学したこととなり、授業料の債務（前期分）が発生しますのでご注意ください。

- (3) 入学手続書類送付先
〒760-8521
高松市幸町1番1号
香川大学教育・学生支援部教育企画課

10. 注 意 事 項

- (1) 出願資格について
出願資格(1)～(6)に該当する受験希望者は、出願前に成績表にもとづいて成績基準を満たしているかよく確認してください。成績の基準を満たしていない場合は、出願を受理しません。
- (2) 外国人留学生特別選抜について
外国人留学生については、2023年12月に募集する外国人留学生特別選抜でも受験できますので、農学部学務係へ照会してください。
- (3) 社会人特別選抜について
社会人については、2023年7月及び2023年12月に募集する社会人特別選抜でも受験できますので、農学部学務係へ照会してください。
- (4) 入学手続を完了した場合であっても、大学卒業見込みで出願した者、大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与される見込みの者が、2024年3月31日までに卒業（修了）できなかった場合、学位を授与されなかった場合には、入学手続が無効になります。

- (5) 障害（学校教育法施行令第22条の3に定める障害の程度）のある入学志願者で、受験上及び修学上の配慮を必要とする可能性がある者は、出願に先立ち、あらかじめ本学と相談してください。

相談の時期：2023年5月12日（金）までです。

相談の方法：申請書（様式自由，健康診断書等必要書類添付）を提出することとし，必要な場合は，本学において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談等を行います。

連絡先：香川大学農学部学務係

〒761-0795 香川県木田郡三木町池戸2393

電話 (087) 891-3015 (直通)

- (6) その他

① 払込済の検定料は，次の場合を除き，いかなる理由があっても返還しません。

1) 検定料を払い込んだが本学に出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった場合

2) 検定料を誤って二重に払い込んだ場合

※上記1)又は2)に該当される方は，香川大学入試課（電話（087）832-1182）へご連絡ください。

② 検査実施の詳細については，試験当日，受付にて指示します。

③ 学生募集要項（願書等を含む）を請求する場合は，香川大学ホームページ（<https://www.kagawa-u.ac.jp/admission/catalogs/>）でご確認ください。

II. 農学研究科教員名及び専門分野名一覧表

下記の表は、本研究科の所属及び関連教員の氏名、専門分野名、おもな研究内容を記したものです。志望する教員名及び専門分野名を願書等に記入してください。

※は、募集しない教員名。

【食料生産学】

| 氏名 | 専門分野 | おもな研究内容 |
|-------|---------|---|
| 豊田 正範 | 作物生態生理学 | 作物の収量形成に関する生態生理学的・発育形態学的研究 |
| 川崎 淨教 | 動物栄養学 | 未利用資源の飼料化および動物の栄養生理、行動に関する研究 |
| 松本 由樹 | 家畜生体機構学 | ①腸管栄養吸収を制御する神経制御機構の解明と動物資源生産への応用 ②動物資源生産に有効な機能性飼料開発と飼育環境評価法の確立 |
| 武藤 幸雄 | 農業経済学 | スマートフードチェーン構築を通じた農産物生産・加工・流通の発展可能性に関する研究 |
| 諸隈 正裕 | 作物栽培学 | 作物の有機栽培に関する栽培学的研究 |

【園芸科学】

| 氏名 | 専門分野 | おもな研究内容 |
|---------|----------|--|
| 奥田 延幸 | 蔬菜園芸学 | 蔬菜の発育制御並びに優良系統の育成・増殖 |
| 高村武二郎 | 園芸資源開発学 | 園芸植物遺伝資源の評価と育種への利用ならびに園芸植物の花色素発現の遺伝的・環境的制御 |
| 別府 賢治 | 果樹園芸学 | 果樹の新品種開発と結実生理に関する研究 |
| 望岡 亮介 ※ | 果樹栽培学 | 未活用果樹野生資源の分布調査、評価、園芸学的利用、新品種の開発 |
| 小杉 祐介 | 園芸利用理工学 | 切り花・野菜の鮮度・品質に関わる生理特性およびその関連遺伝子の解析 |
| 鳴海 貴子 | 花き園芸資源科学 | 花き園芸植物の花の咲く仕組み、花形態制御機構の解明、新形質花き作出技術の開発に関する研究 |

【環境生態機能学】

| 氏名 | 専門分野 | おもな研究内容 |
|---------|----------|---|
| 一見 和彦 | 浅海生産環境学 | 沿岸域における一次生産者を主とした生物生産環境とそれに関わる物質循環過程について |
| 伊藤 文紀 | 昆虫生態学 | 社会性昆虫の行動と生態（特にアジア熱帯におけるアリ類の多様性、侵略アリの生態に関する研究） |
| 多田 邦尚 ※ | 生物・化学海洋学 | 沿岸海域の低次生物生産過程における生元素の挙動 |
| 山田 佳裕 | 生物地球化学 | ①水域における生元素循環に関する研究 ②水域生態系の評価法の開発 |
| 小林 剛 | 植物生態学 | ①陸生高等植物の生活史と生理生態 ②植物集団の構造と動態 ③生態系における生物間相互作用、生物多様性および物質循環 |
| 豊田 鮎 | 土壌生態学 | 落葉分解プロセス・植物生産を制御する土壌動物の機能解明 |
| 安井 行雄 | 進化生態学 | 動物（主に昆虫）の配偶行動や環境に対する適応について、ダーウィンの自然選択・性選択理論に基づいて研究している |
| 山口 一岩 | 沿岸物質循環学 | 沿岸域における生物を介在する物質循環、エネルギー流の解析 |

【生物分子化学】

| 氏名 | 専門分野 | おもな研究内容 |
|---------------|----------|---|
| 加藤 尚 ※ | 植物生化学 | 植物のアレロパシーに関する生化学的・分子生物学的研究 |
| 佐藤 正資 | 生物活性化学 | 新規な生物活性物質の探索とそれらの作用メカニズム解明 |
| 鈴木 利貞 | 生物資源利用化学 | 生物資源のマテリアル利用とエネルギー利用に関する化学的研究 |
| 深田 和宏 | 生物物理化学 | 生体関連両親媒性物質の物性と機能性に関するコロイド界面化学的研究 |
| 古本 敏夫 | 植物機能化学 | 植物成分の探索・利用・生成機構および植物機能に関する化学的研究 |
| 柳田 亮 | 生物有機化学 | 生物活性を有する天然物の探索とその作用機構に関する有機化学的研究 |
| Kong Lingbing | 希少糖有機化学 | 希少糖および希少糖誘導体の有機化学合成と、それらの化合物の創薬展開を目指した生物学的解析を行う |
| 花木 祐輔 | 生物制御分子化学 | 創薬シーズ化合物の探索、化学合成ならびに作用機構解析 |

【植物科学】

| 氏名 | 専門分野 | おもな研究内容 |
|-----------|------------|---|
| 秋光 和也 | 分子植物病理学 | 植物・病原菌間の相互反応に関する遺伝子の解明とその制御 |
| 市村 和也 | 植物ゲノム機能解析学 | 植物免疫を含めた環境ストレス情報伝達機構の解析、およびゲノム機能解析 |
| 京 正晴 ※ | 植物細胞制御学 | 植物細胞の個体発生の誘導方法とその制御機構に関する研究 |
| 五味 剣二 | 植物防衛応答学 | 植物の病原微生物に対する防衛機構の遺伝子レベルでの解析 |
| 野村 美加 | 分子植物栄養学 | 植物微生物相互作用に関する生化学的、分子生物学的解析 |
| 杉田(小西)左江子 | 植物分子育種学 | イネ科作物、主にイネのゲノム情報を用いた有用遺伝子の遺伝解析、遺伝子単離および機能解析 |
| 望月 進 | 希少糖遺伝子工学 | 植物や微生物を用いた希少糖の生産、代謝および作用に関連する遺伝子の機能解析 |

【生命機能科学】

| 氏名 | 専門分野 | おもな研究内容 |
|-------|-----------|---|
| 木村 義雄 | 微生物生理学 | 細菌における栄養、温度、浸透圧などの環境変化に対する適応機構の解明 |
| 櫻庭 春彦 | 酵素工学 | 微生物、特に極限環境に生育する微生物が生産する酵素の機能および構造解析とその応用面の研究 |
| 末吉 紀行 | 分子細胞生物学 | 動物細胞における情報伝達、特に、タンパク質リン酸化・脱リン酸化を介した細胞内情報伝達機構の解明 |
| 田中 直孝 | 細胞生物学 | 真核細胞を用いた糖タンパク質の機能解析及び糖鎖合成機構の解析 |
| 田淵 光昭 | 応用分子細胞生物学 | 出芽酵母における膜ストレス応答の解析と酵母発現系による病原菌エフェクターの機能解析 |
| 渡邊 彰 | 微生物生化学 | 微生物、特にキノコ類が示す生命現象の解析（遺伝子・タンパク質レベルから個体レベルまで）とその応用面に関する研究 |
| 加藤 志郎 | 希少糖酵素工学 | 微生物由来の希少糖代謝関連酵素の機能解析および希少糖生産への応用研究 |
| 杉山 康憲 | 動物細胞生物学 | 動物や動物細胞を用いた生命現象や疾病に関する分子機構の研究 |
| 松沢 智彦 | 酵素学 | 微生物の酵素を駆使した生存戦略の解明とその応用 |

【食品科学】

| 氏名 | 専門分野 | おもな研究内容 |
|-------|-----------|--|
| 小川 雅廣 | 食品タンパク質化学 | 食肉, 食卵, 魚介類, 乳などの動植物性食品に含まれるタンパク質の機能改善に関する研究 |
| 川村 理 | 食品衛生学 | カビ毒(マイコトキシン)や低分子有毒物質に対するモノクローナル抗体の作製と免疫化学的測定法の確立, これらの食品汚染調査, ヒト曝露とリスク評価に関する研究 |
| 高田 悟郎 | 応用酵素化学 | 微生物および酵素を用いた希少糖やオリゴ糖などの機能性糖素材の生産, 微生物の生産する酵素の構造・遺伝子工学および発酵食品の機能性に関する研究 |
| 松尾 達博 | 栄養学 | 食餌と運動が動物の生体内代謝に及ぼす影響およびそれらの相互作用の評価 |
| 森本 兼司 | 応用微生物学 | 微生物および異性化・合成酵素を用いた希少糖の生産およびその分離技術に関する研究 |
| 米倉 リナ | 食品化学 | ①食品の機能性成分の消化・吸収・機能性評価 ②オリーブ果実の加工法及び官能評価に関する研究 |
| 吉原 明秀 | 酵素利用学 | 微生物の生産する希少糖生産酵素およびそれら酵素を用いた様々な希少糖の生産に関する研究を行う |

【本研究科に所属していない教員(客員教授・客員准教授・非常勤教員を含む)】

| 氏名 | 専門分野 | おもな研究内容 |
|--------|--------|--|
| 何森 健 ※ | 酵素利用学 | 酵素や微生物を用いた糖転換反応を利用して希少糖を生産し, その用途に関する研究を行う |
| 神鳥 成弘 | 構造生物化学 | 単糖, オリゴ糖, 多糖を基質とする酵素, および糖鎖認識結合タンパク質の3次元構造と機能との関係について研究を行う |
| 中島 芳浩 | 細胞生物学 | 糖脂質等の生理活性物質の細胞内シグナルネットワークにおよぼす影響について研究を行う |
| 安部 博子 | 糖質生物学 | 出芽酵母を利用して有用糖タンパク質を生産するための手法の確立および糖質の免疫制御機能についての研究を行う |
| 中北 慎一 | 糖鎖生物学 | 生体内における糖鎖の生物学的機能を, その化学構造側からの研究に焦点を当て, どのような意味を持つかについて研究を行う |
| 吉田 裕美 | 蛋白質工学 | 3次元構造情報に基づく分子設計および部位特異的変異法による, 単糖, オリゴ糖, 多糖を基質とする酵素の機能改変についての研究を行う |

Ⅲ. 長期履修学生制度について

長期履修学生制度の対象となるのは、職業を有している等の事情により、本研究科の標準修業年限を超えて、一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修することを希望する者です（ただし、外国人留学生は本制度に申請できません）。

この制度では、2年間で設定されている教育課程を4年間を上限として履修計画を立て、長期履修学生として在籍することが可能です。長期履修学生として認められた場合の授業料は、履修期間にかかわらず原則として2年間に支払うべき授業料総額を3年間又は4年間に分割して支払うことになります。

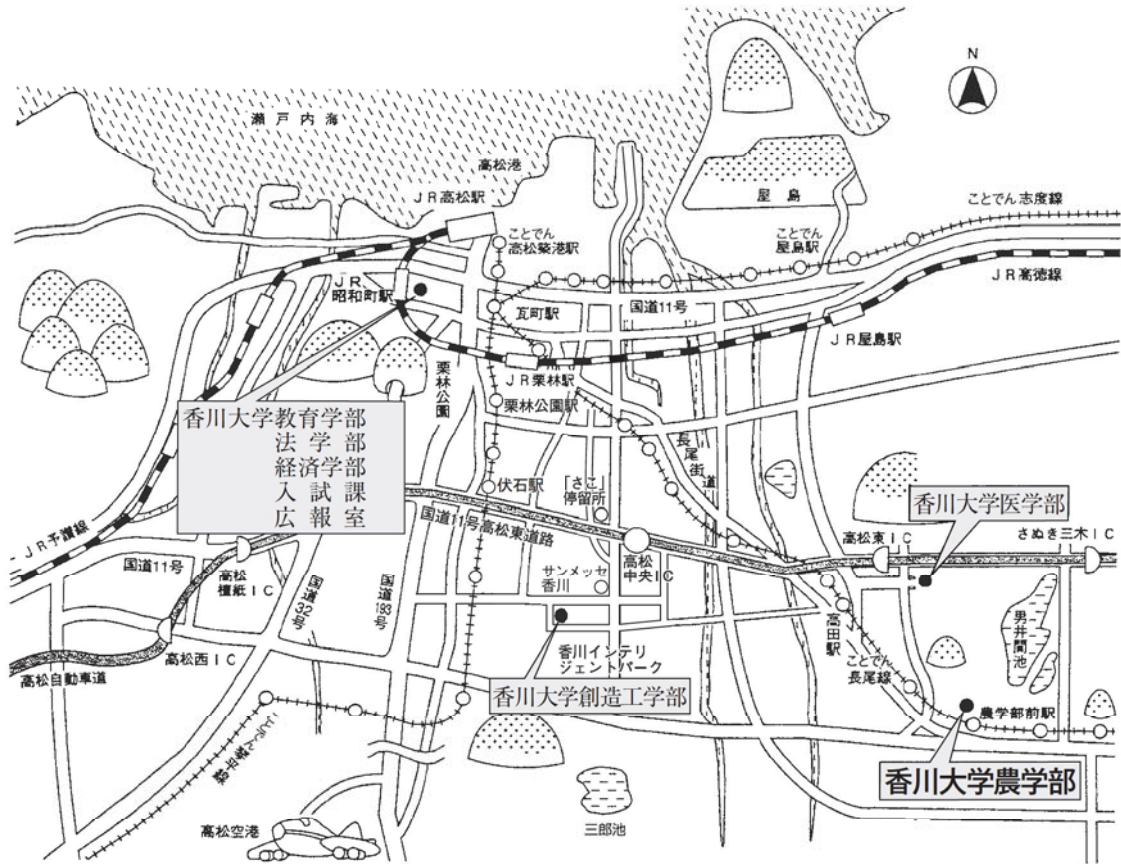
長期履修学生制度の適用を希望する者は、入学試験の出願時に希望の有無を記入して下さい。

また、合格者には、長期履修学生申請書等を入学手続書類と一緒に送付します。申請書等の審査を経て、長期履修学生制度の適用が決定します。

問い合わせ先

香川大学農学部学務係 TEL (087) 891-3015 (直通)

香川大学試験場案内図



農学部

| | |
|---------|--|
| 電 車 | ことでん長尾線「高松築港駅」 → 「農学部前駅」下車 徒歩2分(北へ100m) |
| バ ス | 大川バス 引田線(高松駅前⑧番のりば)「高松駅」 → 「農学部前」下車 徒歩5分(北へ250m) |
| タ ク シ ー | J R高松駅 → 香川大学農学部 約40分 約4,400円 |

(注) 電車、バス等の運行時刻については、受験者各自で確認してください。また、バス路線等については、変更になる場合もあるので注意してください。

入学試験等に関する照会先

香川大学入試課

TEL (087) 832-1182

〒760-8521 高松市幸町1番1号

香川大学農学部学務係

TEL (087) 891-3015 (直通)

〒761-0795 香川県木田郡三木町池戸2393

香川大学ホームページ

<https://www.kagawa-u.ac.jp/>

～ 不測の事態発生時等における諸連絡について ～

災害等の不測の事態が発生し、入学試験を予定どおりに実施できない場合等の対応については、上記の本学ホームページ等でお知らせしますので、ご確認ください。

また、入学試験に関する情報についても本学ホームページ等に随時掲載しますので、試験当日まで注意してご覧ください。